

相双ソフトテニス連盟地域交流会レポート

現在、原発事故で避難を余儀なくされている当地区会員または旧会員と旧交を温めるとともに、お世話になっている地域の愛好者の皆さんと親交を深めることを目的として開催しました今事業でしたが、たくさんの皆さんにご参会いただき真にありがとうございました。特に、県中地区、会津地区、いわき地区の連盟の方々には会場や人の手配等に一方ならぬご協力をいただき本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

県中会場

交流会の初日日程となった県中会場は、7月21日(土)に本宮市白沢庭球場にて行なわれました。交流会には、相双関係者が約40名、県中地区からはジュニアとシニアの参加をいただき、ジュニアにおいては、本宮スポ少、郡山スポ少、三春船引ジュニアの子供達が元気に参加し総勢約100名の交流会となりました。シニアの交流戦には、郡山周辺に避難されている浪江町、富岡町の皆さんや南相馬市から駆けつけた会員の皆さんと須賀川市、郡山市から参加いただいた愛好者の皆さんとの間で熱戦が繰り広げられました。また、ジュニアの子供達は、ダンロップスポーツの三善光伸さんのクリニックを受講し、基本技術全般の指導を受けました。



会津会場

交流会2日目日程は、8月4日(土)に会津総合運動公園テニスコートで行なわれました。会津地区には、大熊ジュニア、大熊中学校の子供達が避難しており、その子供達に加えて、地元の会津若松ジュニア、喜多方スポ少、熱塩加納村スポ少、柳津ジュニア、ACバンビの子供達が参加しました。他に、会津連盟役員の方々、指導者の皆さんにも参加していただき総勢60名の交流会となりました。大変暑い1日でしたが、子供達はとても元気で、大熊の皆さんの旧交を温める光景が印象的な交流会でした。



いわき会場



交流会最終日程は、8月11日(土)にいわき市平テニスコートで行なわれました。開始式では、相双地区に講習会で数十年通っていただいているナロさんから、絆タオルの収益金から、未だ仮設住宅暮らしの多くの子供達を抱える相馬市ソフトテニス協会会長：斎藤博文さんへユニフォームの支援が行なわれました。



交流会には、いわき連盟役員の方々の他にも多数参加をいただきました。また、一般男子の開催はここだけでしたので、20名近い懐かしい顔が集まり、しっかりといわき地区の一般男子との交流戦を行なうことができました。ナロさんには中学生を中心とした基礎技術のクリニックをお願いし、いつものアグレッシブなナロさんのクリニックが行なわれました。同じ浜通り地区で気質も似ている所とあって、笑いの絶えない交流会となりました。

